

活動報告書

宮崎県薬剤師会（宮崎支部）
岡元 俊雄

6月14日

宮崎発→東京（飛行機） 東京→仙台（新幹線）

仙台にて福岡県薬剤師会 三井所先生、山口県薬剤師会 伊藤先生と合流し夕食時に自己紹介。
当日は仙台泊。

6月15日

8時仙台出発（レンタカー）→9時30分石巻バイタルネット到着

簡単な引き継ぎ後 OTC 聞き取り業務開始

中央公民館、中下地区センター 小学校避難所（閉鎖） 蛇田小学校 住吉小学校 住吉中学校を回り注文分の OTC 配達、注文聞き取りおよび衛生管理が表向きであるが実働は避難民の自立に向けてデットストック分の OTC を回収し避難民にも自立を促す。

18時40分より各チームが仮石巻薬剤師会館にて集合しミーティング

①湊小学校②ヤンマー③女川町立病院④女川総合体育館⑤OTC 聞き取り⑥渡波小学校
⑦遊楽館チームがあり翌日のチーム編成を打ち合わせ
遊楽館は介護の必要な患者等が集まり組織も複雑なため組織のスリム化をしていく。



その他は院外処方形態をつくっていき本来あるべき姿に戻していく（受診をして院外処方箋を出し各薬局でもらう）

6月16日

6時45分薬剤師会館にてミーティング

各派遣施設へ行く薬剤師を決定（岡元は渡波小学校にある診療所の薬剤師として業務を担当）

8時45分より渡波小学校にてミーティング開始

0時診療開始 14時50分まで

業務内容

- ①不要な薬の撤去
 - ②Dr. 処方箋の監査
 - ③院外処方箋を出し各薬局への振り分け
 - ④日赤に報告するための処方数の集計
- 午前診療 8人 午後診療 7人



6月17日

6時45分ミーティング

最終日 OTC 聞き取り業務を担当

女川地区から牡鹿半島の各避難所めぐり

こちらの地区は仮設住宅の建設も遅れているため避難生活もしばらく続く方も多いとのこと



各施設ともハエやウジ等の害虫が多い。駆虫は保健所や健康増進センターの担当となるが各施設に行き届いていない現状がある。

薬剤師会にも多少の在庫はあるが数も少ないため全施設には渡すこともできないでいる。

15時バイタルネットに到着 女川、牡鹿半島の現状を報告後業務終了
支援のほとんどは被災者の自立に向けた支援に変わってきている。

感想

現在被災者には自立を促すような活動をしており積極的なボランティア参加は出来るだけしない方向でしたので、もっと何かしてあげたいと言う気持ちと葛藤がありました。

しかしこれが本当の意味で復興をしていくために必要な活動であるため、あとは地元の人たちのがんばりが必要なんだと実感しました。

今後この活動を通して万が一災害が起こった際も迅速かつ的確な活動ができるよう、常にシミュレーションをとりリーダーシップをはかっていきたいと思ひます。